平成27年度大磯町教育委員会第5回定例会議事録

1. 日 時 平成27年8月20日（木）
開会時間 午前9時00分
閉会時間 午前10時10分
2. 場 所 大磯町役場4階第1会議室
3. 出席者 藤 家 崇 教育長
青 山 啓 子 教育長職務代理者
中 野 泉 委員
曾 田 成 則 委員
濱 名 三代子 委員
岩 本 清 嗣 教育部長
小 島 昇 学校教育課長
山 口 友紀子 学校教育課副課長
佐 川 和 裕 生涯学習課長兼図書館長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
瀬 戸 克 彦 子育て支援課長
秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 4名
6. 教育長報告
7. 付議事項
議案第10号 平成27年9月補正予算における教育委員会関連予算要求について
議案第11号 大磯町いじめ問題対策・調査委員会委員の委嘱について
議案第12号 工事請負契約の締結について
8. 報告事項
報告事項第1号 平成26年度教育委員会所管決算見込みについて
報告事項第2号 平成27年第2回（7月）大磯町議会臨時会について
報告事項第3号 歴史講座「大磯と空襲」の実施結果について
報告事項第4号 第1回大磯町放課後子ども総合プラン連絡調会議の報告について
9. その他

(開 会)

教育長) 出席委員が5名で定足数に達しており、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立します。

なお、本日は傍聴を希望されている方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可します。

暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

(平成27年度第4回定例会議事録の承認)

教育長) まず、「平成27年度第4回定例会議事録」は、1ページから15ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成27年度第4回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

教育長報告

教育長) 7月定例会開催後の平成27年7月16日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

7月19日、大磯町指定民俗資料「御船祭」が、8月1日及び2日、神奈川県指定無形民俗文化財「大磯の七夕行事」が、いずれも滞りなく開催されました。

7月21日及び24日に、本年度初の試みとしまして、小学生を対象とした子ども初級英語講座を、教育研究所主催で開催いたしました。定員を超える申込みがあり、英語指導助手や小学校教員の指導のもと、参加した児童は英語に親しみました。

7月22日、幼稚園に勤務する教育支援員を対象に、研修会を開催しました。本年度より、教育支援員を対象とした研修の充実に努めているところであり、参加者の感想からは好評であったことが伺えました。小中学校の教育支援員を対象とした研修会は、このあと9月の初めに実施の予定です。

7月30日、教育委員会臨時会を開催し、平成28年度に使用する教科用図書採択を行いました。委員の皆様には、ご協力いただきありがとうございました。

8月2日、郷土資料館研修室におきまして、歴史講座「大磯と空襲」を開催し、多数の方にお越しいただきました。詳細につきましては、後ほど事務局よりご報告いたします。

そのほかにも、学校等の夏休み期間中を活用し、子どもを対象とした事業や教員を対象とした各種研修会を開催いたしました。

その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりです。

なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

また、7月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する事、専決した事項に関する事については、8月6日付けで

「大磯町立小・中学校校外学習等交付金交付要綱」を告示しましたことを報告いたします。この要綱は、修学旅行等の学校外での学習を実施するため、教職員に拝観料や入場料を交付することについて、必要な事項を定めたもので、今回、新たに制定したものです。

報告につきましては、以上でございます。

議案第 10 号 平成 27 年 9 月補正予算における教育委員会関連予算要求について

書記が議案を朗読し、教育部長から提案理由の説明を行った。

学校教育課長) 議案第 10 号、平成 27 年 9 月補正予算における教育委員会関連予算要求について、ご説明いたします。議案別紙をご覧ください。まずは、学校教育課分の説明となります。

初めに歳入ですが、寄附金の教育費寄附金、小学校寄附金です。こちらにつきましては、4月8日に「小学校教育に活用してほしい」ということで、篤志家の方より匿名でご寄附いただいたものになります。

続きまして、歳出です。1点目の予算科目は教育費、小学校費、学校管理費、事業名はコンピュータ教育推進事業、備品購入費、機械器具購入費となります。寄附金を活用しまして、小学校におけるICT教育充実のために、書画カメラ及びワイヤレス・ペンタブレットを各小学校に6台ずつ整備します。書画カメラを使用することで、手元の資料や子どものノートをデジタルテレビに拡大提示でき、さらにワイヤレス・ペンタブレットを使用することで画面上に書き込みができるようになるため、視覚的に分かりやすい授業を実施することが期待されます。

2点目は、小学校費、学校給食費、事業名は学校給食施設・設備維持事業の需用費、修繕料と備品購入費、給食用備品購入費となります。大磯小学校の給食調理で使用しています多機能加熱調理機、スチームコンベクションが老朽化し、使用できなくなる恐れがあるため買い替えを行います。

3点目は、中学校費、学校管理費、事業名は学校施設・設備維持事業、需用費、修繕料となります。国府中学校の非常放送設備が7月に誤作動を起こしましたので、老朽化した非常放送パネルを新しいものに入れ替えるための歳出増になります。なお、機器の入れ替えは、新学期に間に合うように既に実施済みです。

学校教育課は以上です。

生涯学習課長) 続いて生涯学習課所管の案件です。予算科目は社会教育費、社会教育総務費。事業名は文化財保護事業、負担金補助及び交付金のうち町指定文化財修理補助金となっています。補正理由としては、大磯町指定民俗資料、これは無形民俗文化財のことですが、高麗の山神輿におきまして担がれる神輿の心柱、および枡組と呼ばれる部分を修繕するためのものです。全体経費のうち、2分の1ずつを所有者と、今回計上しています町補助金とで負担をいたします。平成 27 年度 9 月補正における教育委員会関連予算要求の説明は以上です。

質疑応答)

中野委員) まず、コンピュータのタブレットについてです。中学校の運動会に行ったときに校長先生が、いろいろなものに注意が散ってしまって勉強に集中できない子は、タブレットを使うととてもよく集中できるという話をされていたのを聞いておりましたので、非常によかったなと思いました。

もう一点は、スチームコンベクションというのはどういうもので、何年ぐらい経つものなのですか。

学校教育課長) スチームコンベクションですが、多機能加熱調理器というもので、蒸す、焼く、再加熱等、いろいろな加熱調理ができるものです。これにつきましては、使用年数が正確にはわかりませんが、もう多年使用しておりました、ブレイカーが落ちてしまうというような不具合が続いていたものを、だましまし使っていました。給食調理に支障が出てしまうといけないということで、今回補正予算で計上させていただきました。

中野委員) お伺いしたのは、非常に高額なものなので、ぜひ大事に使っていただきたいなと思ったからです。

それから、もう一つ、インターフォンはやはりいつかは付けていただきたいなと思ひまして、今回上がってきませんでしたが、いずれ検討していきたいなと思ひました。これは、やはり子どもたちの命を守るというものですので、ぜひ何とかしていただきたいと思ひます。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。

議案第 10 号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第 10 号「平成 27 年 9 月補正予算における教育委員会関連予算要求について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

議案第 11 号 大磯町いじめ問題対策・調査委員会委員の委嘱について

書記が議案を朗読し、教育部長から提案理由の説明を行った。

学校教育課副課長) 参考資料をご覧ください。今回、提案させていただいた委員の構成は、次の 7 名になっております。なお、いじめ問題等の事案の調査や調整を行う場合は、調査・調整の対象となる関係者と直接の人間関係又は特別利害関係を有する委員がいる場合には、その委員を除いた構成員で調査・調整に当たることとし、公平性・中立性の確保に配慮します。

委員の任期は、平成 27 年 7 月 1 日から平成 29 年 6 月 30 日まで。

委員会の開催予定は、今年度は初年度ということで、9 月頃に第 1 回目を、第 2 回目を 2 月頃に予定しております。内容は、大磯町いじめ防止基本方針に基づく対応の状況等についての検証です。なお、次年度以降は、7 月頃を予定しております。

また、必要に応じて、いじめの重大事態を明確にする調査を実施します。以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

質疑応答)

青山委員) こちらに委員をお願いする皆さんのお名前が出ていますけれども、もう少し詳しくそれぞれの方について何かわかることがあったら伝えていただきたいのですが、いかがでしょうか。

学校教育課副課長) 弁護士に関しては、横浜弁護士会に依頼して紹介していただいた弁護士さんをお願いしております。それから、心理や福祉の専門家につきましては、川崎でスクールカウンセラーをまとめる役をしておられる臨床心理士の小見先生をお願いしております。古屋先生に関しましては、東海大学の講師で、元中学校の校長先生と聞いております。人権擁護委員は、大磯町の人権擁護委員会の会長様、それから、区長会代表は、大磯町の区長連絡協議会の会計の上村様、民生委員児童委員の代表としては、西小磯東の方の、元小学校長の方をお願いしております。それから、PTAの代表者というのは、磯P連から各校輪番制で選出ということで、今回は大磯小学校のPTA会長の松井様をお願いしております。

教育長) よろしいでしょうか。

ほかにございますでしょうか。

中野委員) 今、初めて聞いたのですが、この委員の中で被害者、加害者と関係のある者がいたら、その人を除くということではよろしいでしょうか。

学校教育課副課長) はい。

中野委員) それは欠員のままということですか。

学校教育課副課長) はい。

中野委員) わかりました。結構です。

教育長) ほかにございますでしょうか。

濱名委員) 開催時期というのは、もう決まったものが3つ出ておりますが、緊急に何か問題が発生した場合は、集まって話し合いをしてもらうということではよろしいですか。

学校教育課副課長) もちろん、あってはならないことであるのですが、いじめの重大事態が起こった場合は、決められた開催時期でない時期にも集まる場合はあります。

濱名委員) 重大事態が起こらないことを願いますけれども。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。

議案第11号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第11号「大磯町いじめ問題対策・調査委員会委員の委嘱について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

議案第12号 工事請負契約の締結について

書記が議案を朗読し、教育部長から提案理由の説明を行った。

郷土資料館長) 議案第12号、工事請負契約の締結について、ご説明いたします。

入札結果をご説明いたします。件名は、「大磯町郷土資料館展示リニューアル工事」、入札は平成27年8月6日に一般競争入札で行なわれました。その結果、3社の応札があり、No.1の(株)丹青社が、税抜き7,650万円で落札いたしました。落札比率は96.8%でした。これによりまして、事業者と仮契約を結び、議会本会議において承認後、本契約を締結することになります。

2ページの工事概要をご説明します。2の請負業者は株式会社丹青社、請負金額は、税込みで8,262万円です。4の契約工期は契約締結の日から、平成28年6月30日までとなっております。5の工事内容、6の各室の整備内容は記載のとおりであります。

質疑応答)

青山委員) この結果について何か不満というわけではないのですが、ここに予定価格と最低制限価格が載っていますが、予定価格というのはどのように決めるのでしょうか。

郷土資料館長) 予定価格につきましては、設計金額をもとに入札時に財政課と協議の上設定しております。

青山委員) 今まで教育委員会の中でいろんな工事の締結について、報告や付議があるのですが、今までは最低制限価格から比べて、大体1.2倍ぐらいの金額が予定価格になっているなど思っていました。今回2つの数字を比べてみると、予定価格というのはそれよりも高い割合が、1.5倍までいかない程度の価格になっているので、こういう大きな工事になると違うのかなというようなことも考えていたのですが、少し予定価格が高くなっているのではないかなというようなことを思ったので質問しました。

教育部長) 予定価格、現状の工事等については予算の範囲内になりますので、予算と同額が多いです。ただ、入札に関して予定価格の決め方の基準としては、まさに予算ありきですけど、予算額から、予算の時期は前年度の12月、1月に決まりますので、それから実際に入札する時期へ物価の上昇とか材料費等の下落とか上昇、そういうものを加味して変更する場合があります。ですから、実際の入札に当たっての予定価格は、そのときの経済状況とか物価の上昇等を加味して変えることがあります。ただ、現状では、この入札、8月6日に実施しましたが、その準備に当たっては、上昇した場合に予算はありませんが、その中でやらざるを得ないので、仕様書を変えるとか、あるいは下落というのはありませんでしたので、予算とほぼ同額のことによって予定価格を定めたと。最低制限価格というのは、大体それから80%から85%程度ですけど、それよりもし下の金額で入札した場合にはダンピングとか、従業者の賃金を無理やり抑えちゃうということを防ぐために、安かろう悪かろうを防ぐための制限を加えているということになりますので、実際、入札で工事の種類によって確かに落札率が、今回96.8%ですけど、それが85%になったり、90%になったり、99%になったりするの、ある程度やむを得な

い。会社の考えとか、工事の困難さにもよりますので、ここら辺の変動はどうしても出てしまうという、そういう現状にあります。ちょっと補足ですけど。

青山委員) 予算と同額ということで概ね理解しました。今回ちょっと高い感じもしましたので、確認させていただきました。

曾田委員) 質問ではないのですが、青山先生の質問は、そういう部分であったと思うのですが、今ようやく 3.11 の復興が軌道に乗ってきまして、国立の例の競技場の問題も含めてそうなのですが、価格のばらつきがすごく激しくなりました。東北で工事する人からみんな賃金がどんどん上がって、予算が組めない状態が町中心に、あるいは全国に広まっているというのを関係者から聞いたことがあります、なかなか思うようにいかない現状だということを耳にしたことがありましたので、あえて言わせていただきました。

中野委員) 私も、応募してきた会社が提示した額が少ないところは採用しないというような話を聞いて、安かろう悪かろうという印象があるのでということを知りたい気がするのですが、それは最低制限価格を割った場合に該当するということですね。

教育部長) 今、最低制限価格ということで 1 ページに表示しています。それより低い場合には落札できないと。ただ、実はもう一つ、去年から低入札制度調査委員会という制度を始めています。ですから、最低制限価格以下は失格なんですけれども、新たな制度によって、それより下回った場合でも、業者にヒアリングしまして、どうしてこう積算が低いのか、どういう意味で低くて、そのルールがあるか否かを再調査する制度を去年から始めましたので、今回はなかったのですが、それ以下の場合に調査委員会のヒアリングを通して認定する場合も今はございます。

濱名委員) 今の教育部長のお話はすごくよくわかるのですが、実は安かろう悪かろうというふうには捉えていませんでした。最低の金額よりも下回ったら、無理無理仕事をするという、そういう競争をなくすために最低基準というのがあるのかなと捉えていたのですが、やり方次第では、最低よりも下回ってでもうまくできるということはあると思っていましたので、そういうふうな調査も入っているというのを聞いて非常に安心しました。

報告事項第 1 号 平成 26 年度教育委員会所管決算見込みについて

学校教育課長) 報告事項第 1 号、平成 26 年度教育委員会所管決算見込みについて説明いたします。お手元の資料をご覧ください。

はじめに、大磯町全体の一般会計歳入・歳出決算見込額について説明します。歳入の決算見込額は、一番上の表の右から 3 番目、収入済額の 97 億 1,107 万 3408 円で前年度比 1.1% の増、歳出の決算見込額は、次の表の右から 3 番目、支出済額の 89 億 3,913 万 7,580 円で 3.4% の減となります。

それでは、教育委員会所管の歳出決算見込額について説明します。

3 番目の表の科目、児童福祉費の支出済額の欄をご覧ください。支出済額は 10 億 3,153 万 2,428 円で、前年度比 5.2% の減、不用額の予算額に対する

割合は 1.7%です。

つづいて科目、教育総務費の支出済額は 1 億 9,573 万 2,745 円で、前年度比 10.2%の増、不用額の予算額に対する割合は 1.4%です。

次に科目、小学校費の支出済額は 1 億 2,505 万 1,625 円で、前年度比 45.6%の減、不用額の予算額に対する割合は 3.7%です。前年度比で大幅減の理由は平成 25 年度に大磯小学校体育館耐震改修事業、国府小学校トイレ等改修工事を実施していたためです。

次に科目、中学校費の支出済額は 5,568 万 8,240 円で、前年度比 25.3%の増、不用額の予算額に対する割合は 3.1%です。国府中学校体育館耐震補強改修と中学校給食実施のための予算が平成 27 年度への繰越となっています。

次に科目、幼稚園費の支出済額は 1 億 7,024 万 5,821 円で、前年度比 5.7%の増、不用額の予算額に対する割合は 2.8%です。

最後の科目、社会教育費の支出済額は 2 億 9,423 万 31 円で、前年度比 66.8%の増、不用額の予算額に対する割合は 1.8%です。旧吉田茂邸再建事業予算が平成 27 年度への繰越となっています。

以上の決算見込額により決算書を作成し、9 月大磯町議会定例会に提出し、承認を求めることとなります。平成 26 年度教育委員会所管決算見込額の概要説明は以上です。

質疑応答)

濱名委員) 不用額というのはどのように理解すればよいのですか。

学校教育課長) 予算額があり、平成 26 年度中に支出し、執行した結果残った額とお考えいただければと思います。

報告事項第 2 号 平成 27 年第 2 回 (7 月) 大磯町議会臨時会について

教育部長) 平成 27 年第 1 回 (7 月) 大磯町議会臨時会の概要についてご報告します。今回の臨時会は、平成 27 年 7 月 16 日から新しい任期がスタートしました町議会議員の議長、副議長選挙などに関連する会議で 7 月 23 日の一日の会期で開催されました。

資料の 1 ページをお開き下さい。一般会計の補正予算書の議案書の写しです。2 ページをお開きください。件数番号 2、議案第 50 号一般会計補正予算で、補正額 1 億 4,120 万円です。3 ページ 4 ページをご覧ください。こちらが補正予算歳出の詳細資料です。国府中学校体育館等改修事業にかかるもので、今回の補正額全額が本事業に関わるものです。

主な、質疑応答としましては、鈴木京子議員からは、当初予算に計上しなかった理由は、という質問に対しては、平成 26 年度の耐震診断の結果を受けて計画より前倒しで耐震化を図るために今年度の補正予算対応とした、と答弁しました。

次に、耐震改修の第三者判定が 3 月に出されたのになぜ 6 月補正予算に出さなかったのか、については、その後も詳細設計のために学校と調整してい

たためこの時期となった、と答弁しました。

竹内恵美子議員からは、ステージ下の収納庫は整備されるのか、という質問に対しては、機能的に問題がないので引き出しの板の部分のみの改修となる、と答弁しました。次に、卓球の練習場の整備はされるのか、については、床の損傷部分を改修する、と答弁しました。

柴崎茂議員からは、耐震部分と改修部分の工事費の内訳について、緊急性のある耐震改修をもっと先に実施すべきではなかったかという質問に対しては、耐震診断の結果、損傷はあるが崩壊することはないとのことだったので、大規模改修と合わせて設計を組み工事をする事とした、と答弁しました。授業に支障はないのか、については、年度当初から工事を想定してグラウンド、体育館、教室それぞれで実施する授業を組み替えて行っており、影響を最小限にしている、と答弁しました。

玉虫志保実議員からは、天井に鉄骨を組むが落ちる心配はないか、という質問に対しては、耐震性、強度について設計した中での施工となるので落ちることはない、と答弁しました。

質疑終了後、討論が行われ、反対討論として、鈴木京子議員が、工事の補正予算の出し方として納得できない、などの意見がありました。

採決の結果、賛成多数で可決しました。

平成 27 年第 1 回大磯町議会臨時会の概要報告については以上でございます。

質疑応答) なし

報告事項第 3 号 歴史講座「大磯と空襲」の実施結果について

郷土資料館長) 報告事項第 3 号、歴史講座「大磯と空襲」の実施結果について、ご報告いたします。

資料裏面をご覧ください。今回の歴史講座は、戦後 70 年を記して企画したものであり、平成 27 年 8 月 2 日に郷土資料館研修室で開催いたしました。資料 3. の内容に記載した 4 つの講話・朗読によって構成し、併せて室内に関連資料の展示も行ないました。参加人数は 67 名です。

なお、本講座は町の平和推進事業としても位置付けており、町総務課協賛という形で開催いたしました。説明は以上です。

質疑応答)

曾田委員) 大磯の空襲について体験された方が今どのくらいこの町にお元気でおられるのでしょうか。

郷土資料館長) 今回体験された方にもお話しいただいておりますが、皆さんご高齢になってきていらっしゃるやいまして、人数的には把握しておりませんが、少ない人数になってきているであろうということは推察されます。

曾田委員) お二人に大磯町の空襲の体験話をしていただいて、大体年齢はどのくらいの方なのでしょうか。

郷土資料館長) 80代の方でございます。そのほか、会場に、今回お話しはされませんが、当時体験された方が話を聞きにみえてもいらっしやいました。

青山委員) 今回お話しいただいた内容というのは、既に記録なり何か残っているものを再度お話しされたのでしょうか。それとも、初めてお話しするということが記録のないお話だったのか。もし記録がないお話でしたら、やはりこれからそういうことを語る方たちが、機会も少なくなっていく中で、何かしらの形に残っていったら良いと思うのですが、どうでしょうか。

郷土資料館長) 今回のお話の中には、既に記録としてまとめられたものもございますし、そうでないものもございます。いずれにいたしましても、今回の講座の開催記録というのは、とどめてもらうように考えておりますので、そういった形で記録に残せばというふうに考えております。

中野委員) このような話はぜひ子どもたちにも聞かせたいと思います。できれば体験された方、お元気なうちに学校に来ていただいて、お話しいただきたいと思います。

学校教育課長) 今のお話に関連してですけれども、毎年、小学校6年生が原子爆弾の被災に遭われた方、経験された方のお話を聞くという機会を小学校のほうでは設けています。また、地域のお話についても、機会があったら、そういう場の設定を検討していきたいと思います。

濱名委員) 平塚の空襲と戦災を記録する会という会がここに書いてありますね。あと、二宮にもそういう記録する会というのがあるのですが、大磯町に記録する会というのには存在しているのでしょうか。

郷土資料館長) 記録する会というものの存在は承知しておりますが、今回、大磯で空襲を体験された方のお話などを含めて、講座を構成したものです。

濱名委員) 例えば、公共施設で大磯の空襲をお話ししてもらったというのは初めての試みということでしょうか。

郷土資料館長) 歴史講座という形では初めてだと思います。ただ、今まで戦後50年など節目の年に刊行物などで体験された方のお話を紹介させていただいたことはございます。

濱名委員) お話ししていただく方をどのように募集してお招きしていらっしゃるのでしょうか。

郷土資料館長) 例えば平塚の空襲と戦災を記録する会の方などから情報をいただいてもおります。

生涯学習課長) かつて、10年前に戦後60年という企画展をしたことがあります。実はそれまでも資料館のほうでは、災害ですとか過去のいろいろな不幸な出来事についての聞き取りも継続してやってきた経緯がございます。関東大震災ですとか、あるいは過去の水害、台風ですとか、それに合わせて、戦災の体験者にも実は聞き取りをしていたこともございます。ただ、平塚の大空襲と違いまして、大磯は部分的な空襲だったということもありまして、必ずしも平塚のように空襲体験者というのはなかなか見つからなかったという部分もあります。地域によって、例えば寺坂ですとか山王町の一部、焼夷弾が落ちたということもありますので、多くはないですが、若干の聞き取り等がありましたので、それを加味した展示を戦後60年のときに展示をした経緯がありまして、そういう体験談をそのときにちょっと紹介させていた

だいたという経緯はございます。今回は改めて空襲という大きな、それをテーマに掲げていただいたので、多分今後、新たに大磯で体験された方の発掘にはつながるのではないかなという感じがしております。

報告事項第4号 第1回大磯町放課後子ども総合プラン連絡調整会議の報告について

子育て支援課長) 第1回大磯町放課後子ども総合プラン連絡調整会議について、ご報告いたします。

大磯町放課後子ども総合プラン連絡調整会議につきましては、平成26年7月31日付けで文部科学省と厚生労働省から連名で出されました『放課後子ども総合プラン』に基づき、共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブ、いわゆる学童保育と放課後子ども教室を計画的に整備を推進するために、設置いたしました。

会議の構成員につきましては、学童保育クラブの支援員や放課後子ども教室のコーディネーターを始め、各小学校の代表及びPTAの代表。また、協力等をお願いすることになる関係団体の代表の方々にお集まり頂いています。なお、行政は学校教育課長及び生涯学習課長と事務局を担当する子育て支援課も構成員としておりますので、総勢18名委員となります。

当日は、委員の方1名が欠席されましたので、17名の委員により、開催されました。

会議は、議題に入る前に会長及び副会長の選任を行い、会長は、星槎大学の樫永教授に、また副会長は、放課後子ども教室の大磯小学校の安池コーディネーターに決定いたしました。

今回は、初めての会議ですので議題も、「放課後子ども総合プランについて」ということで、まず国が示す放課後子ども総合プランの内容について説明し、「町の現状」や「今後の方向性」や「スケジュール」、また今年度よりスタートしております「子ども笑顔かがやきプラン」との関係等について合わせて、説明いたしました。

各委員より現状に対する課題やご意見を頂きましたので、今後は、それらの課題等を整理し、学童保育と放課後子ども教室の一体型の実施に向けて取り組んでまいります。

また、「その他」の中で、今回県の教育委員会よりお話を頂きました『神奈川県「朝の子どもの居場所づくり」モデル事業』についても、説明いたしました。

こちらの事業については、平成27年度、県教育委員会がモデル事業として県内の3市町を対象に実施する事業で、大磯町の他に綾瀬市と海老名市が対象となっております。事業の概要としては、小学校の始業前に学校施設を利用して、子どもたちが安全・安心な居場所を確保し、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。詳細については、今後、県教育委員会の協議を進めていくこととなります。

担当といたしましては、この連絡調整会議での課題の一つであると考えますので、本会議で検討し、実施に向けて進めていきたいと考えております。

協議事項第4号 第1回大磯町放課後子ども総合プラン連絡調整会議についての報告は、以上となります。

質疑応答)

中野委員) 実は、私も働いていた経験から、朝の子どもの居場所というのが非常に困りました。私は実家が近くにあるもので、両親に来てもらって、朝送り出しまでやってもらっていましたが、学校に早く行くことはできないし、早く行くと先生に帰されるというか、注意されました。それは安全を確保できないからということで当然ですけれども、朝の自分が出勤した後、子どもが登校するまでの間の時間というのは、非常に困る時間帯でありますので、早急に対応していただければ、働く女性も増えることですし、そういうのをモデルにしてかがやきプランをつくられていると思うので、ぜひ推進していただきたいと思います。

子育て支援課長) こちらは、県の職員提案による事業で、大磯町でモデル事業として実施して頂きたいとお話を頂きましたので、町としてもニーズ調査等を行った中で進めていきたいと思っております。できましたら、年明けの1月あたりからスタートしていきたいと思っております。

曾田委員) とてもいいアイデアだと思うのですが、親にとって子どもがそういう時間帯を過ごすのは大変いいことだと思いますが、それを受け入れる側はいろいろ問題があるだろうということ、資料を見て感じました。そういう人たちはボランティアでやるのか、あるいは何か決めてやるのか、その辺はまだこれからだろうと思いますが、大方、町で考えていられるものはどのような感じになっているのでしょうか。

子育て支援課長) 県では、放課後子ども教室の朝バージョンというイメージの様ですが、内容的には保育の部分も多々あるかと思われまますので、放課後子ども教室のボランティアさんの他に、学童さんの協力を得た中で、進めていければと考えております。

曾田委員) そうすると、モデル地域という指定を受けたわけですから、これを成功させると相当大磯町の子育て支援がクローズアップすると思うのです。まだ困難はいろいろあるかと思いますが、ぜひ成功させていただければうれしいなと感じております。

子育て支援課長) 県内で3ヶ所のうち町は大磯しかありませんので、ぜひ成功させたいと思います。早々に学童の指導員さんと放課後子ども教室のコーディネーターさんと調整し、実施に向けて進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

濱名委員) これはいただいた資料全部の中から質問していったいいことですね。まず、放課後子ども総合プラン、放課後子ども教室というのは大磯町で既にやっていることですね。そのボランティアの状況というのを知りたいのですが。

子育て支援課長) 人数的なものですか。

濱名委員) 人数と、どういうことをしているのか、そういうのも全然把握できていないのです。

子育て支援課長) 放課後子ども教室は、基本的に自由遊びを中心に行われています。ボランティアさんにつきましては、全体の取りまとめるコーディネーターさんが各学校に1名ずつ、それを補佐するサブコーディネーターも各1名ずつ配置しています。あと安全の見守りを担当するボランティアさんと、子どもたちと一緒に遊び、指導するボランティアさんおります。人数的には、各校20名程度の登録があります。

濱名委員) そのボランティアの方たちというのは、子どもたちを預かっているわけですから、責任重大なことが多いと思いますけれども、それについての研修ですとか、講習会ですとか、資格ですとか、そういうことはどのようになっていますか。

子育て支援課長) まず、ボランティアさんの資格については、特に求めていません。研修につきましては、年1回は研修会を開催しております。また、コーディネーターさんには、県の研修会等にも参加いただき、その内容を皆さんに伝えていただいております。

濱名委員) 年に1回の講習の内容や、どれぐらいの規模で実施されているのですか。

子育て支援課長) 昨年度ですと、普通救命救急講習を実施するなど、内容については毎年違った内容を考えるようにはしています。

濱名委員) 保険について知りたいと思ったのですが、子どもを預かるときって、来るときもそうですが、家に帰るまでが大事なことですよね。保険というのは、学校の保険を使われる。学校に来るわけですから、登下校というのでしょうか、時間外ではありますけれども。

子育て支援課長) こちらにつきましては、学校の保険等は使っておりません。特に放課後の部分なので、学校とは一応分けてありまして、保護者の方から300円いただきまして、町のほうで別途保険を掛けさせていただいております。ですので、事業をやっている間、来るときから帰るときまで全て保険の対象となっております。

濱名委員) 地域に応じてということ、朝の居場所づくりをするにしても、ボランティアさんというのは集まりそうなのですか。

子育て支援課長) 朝の居場所づくりにつきましては、ボランティアさんでの対応は難しいかもしれませんので、学童さんとも調整した中で進めていきます。地域に応じてとのお話については、朝の居場所づくりでは無く、本来実施している午後の放課後子ども教室のお話で、地区の会館や各地区におられるボランティアさん等とコラボできればと考えております。

濱名委員) 学校の先生はこういうプランには入っていらっしやらないですか。

子育て支援課長) 基本的には放課後の部分なので、先生が直接出てきて指導とかということはないのですけども、施設的に学校を使っていますので、そういう意味で今回、校長先生とかにはお話しさせていただいておりますし、また、必要とあれば、協力のほうを依頼していきたいと考えております。

濱名委員) 学校の先生のやるべき仕事からまた増やしていくのはどうかなというふうに捉えていまして、中学校の課外授業や部活であっても、学校の先生が非常に忙しい思いをしていて、本来のことができていないような気がします。

小学校でも、施設を使ってこういうことをするから小学校の先生も出してもらって何かをするというのは、なるべく避けたい状況だと思うのですが。

子育て支援課長) そちらにつきましては、基本的に放課後ですので先生に負担がかかることはないと思います。先程も言いましたが、学校施設を利用していますので協力がないう訳ではないと認識しています。実際の事業の運営はボランティアさんが行っていますので、問題ないと思います。

濱名委員) なおさらボランティアさんの資質の向上というのが非常に大事だと思いますので、年に1回の講習でなく、もう少し子どもの実情を把握していただくなどの努力が必要かと思います。

子育て支援課長) この事業は平成21年度からスタートしており、事業の開始時からのベテランのボランティアさんが多いと認識しています。それに甘えてはいけませんので、今後も研修会等を開催し、ボランティアさんのスキルアップを図って行きたいと思います。

(その他)

教育部長) 次回の教育委員会定例会は、9月24日、木曜日、午前9時から、大磯町役場4階第2委員会室で開催予定です。午後は国府中学校の訪問となります。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成27年度大磯町教育委員会第5回定例会を閉会いたします。お忙しい中、長時間に渡りご審議いただきまして、ありがとうございました。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成27年9月24日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____